

生活環境・安全グループ 代表質問 「災害対策について」

参加学校 / 花川北中学校、樽川中学校、厚田中学校、浜益中学校



☆質問・答弁

- ・市では何日分、何人分の非常食を備えているのかお伺いします。
→避難者に市職員などを加えた 4,700 人の 1 食分を備えております。(市長)
- ・地区防災ガイドを多くの方に広める方法として公共施設などに設置する考えはあるのかお伺いします。
→特に公共施設など多くの方が集うところには、必要と思っております。(市長)
- ・市内にある風力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギーは、北海道胆振東部地震の時、どのように活用されたのかお伺いします。
→停電が発生した後の9月11日から14日に、太陽光と風力による発電量が最大で北海道全体の電力需要量の3割を賄ったとのことですので、石狩市内の設備も含めて、電力不足を補うことに貢献したと考えられます。(市長)
- ・石狩市は海が近いので、波力発電の設置を考えてみてはどうでしょうか。
→現時点では、市が主体となって設置を考える予定はありません。(市長)

☆再質問・答弁

- ・地震による被害想定をもとに 4,700 食の非常食を備えているとのことですが、この量で十分なのでしょうか。
→すでに検討段階に入っており、増やしたいと思っております。(市長)
- ・学校、児童館、公園などに子ども向け防災ガイドとマップの看板を設置してはどうでしょうか。
→掲示板を子どもの目線に置くというのは必要なことだと思っておりますので、考えていきます。(市長)

一般質問

☆質問・答弁

- ・今までの市長経験のなかで一番つかったこと、一番得たことを教えてください。
→辛かったと自分で思ったことはほとんどありません。得たことは、多くの人と知り合えたことに尽きます。(市長)
- ・北海道胆振東部地震が起きてすぐ、市長、教育長はどう思い、どのような行動をとりましたか。
→十勝沖地震を経験していたので、落ち着いて情報収集することができました。市の対策本部に入り、学校施設の被害状況を把握しました。(教育長)
- 直ちに対策本部に入りました。周辺の情報、公共施設、怪我人はいないかの状況などを次々各部から報告を受けました。(市長)



人口問題グループ 代表質問 「人口減少対策と市のPRについて」

参加学校 / 花川南中学校、樽川中学校、石狩中学校、石狩南高校

☆質問・答弁

- ・市の人口減少の現状と、具体的な対策や考えがあれば伺います。
→平成 19 年 12 月の 60,473 人をピークとして現在は 58,393 人という状況です。石狩湾新港地域は働く場所が増えており、人口にとっては非常にプラスになる要素を持っております。ふるさと教育を進めるなどして、皆さんの石狩に住みたいという気持ちがあれば、現在の石狩の人口を確保していけるのではないかと考えております。(市長)



☆再質問・答弁

- ・今後さらに IT 企業等の誘致を増やす考えはありますか。
→IT と再生可能エネルギーをどう活用するかということも検討しながら、企業を誘致する取り組みを始めています。(市長)
- ・交通機関の減少、不足についての市の考えについて伺います。
→新しい時代の交通計画は IT 技術を含めて様々な形に発展してくると思います。研究会などを作りながら、身近な問題と交通体制の在り方などについて議論を深めていきます。(市長)

一般質問

☆質問・答弁

- ・25 年後、どんなまちになって欲しいとお考えですか。石狩市が目指して欲しいことについて伺います。
→水や森、歴史やふるさと意識など、無形の価値観が大切になってきます。産業も子育ても農業も水産業も全てその価値観の基に新しい時代が築かれると思っています。(市長)

- ・今回の IYP に参加した私たち中高生にメッセージをお願いします。
→常に自分を信じて何事も諦めずにチャレンジする気持ちを持ち続けていただきたいと思います。また、これからの出会いを心待ちにしながら、わくわく感を持って日々を生きていただければと思います。(教育長)

- 選挙に行くこと。このことに最初の第一歩が始まると思います。選挙に行かない人は次の世代を語ったり、現状に苦言を呈することはできないのではないかと思います。ぜひ投票行為に参加するような大人になっていただきたいと思いますというのが私からの願いです。(市長)



教育・学校グループ 代表質問 「登下校の学習用具の軽減化と給食の時間とメニューについて」

参加学校 / 花川中学校、厚田中学校、石狩翔陽高校、石狩南高校

☆質問・答弁

- ・使用する予定のない教科・教材を置いて帰ることを認めている学校もあると聞いています。それぞれの学校での取り組みについて見直し、再度検討してはいかがでしょうか。
→文部科学省の通知を参考に、健康面と学習面を十分に考慮しながら改めて工夫検討が必要ではないかと考えております。(教育長)
- ・給食時間の拡大を提案しますが、石狩市はどのように考えますか。
→給食時間を延ばすということは、学校での一日の時間が窮屈になることも予想されます。現状では、ゆとりのある給食の時間設定は難しいと考えております。(教育長)
- ・給食のメニューは誰がどのようなことに基づいて決めているのかをお伺いします。
→栄養教諭の先生が成長期にある小中学生に必要な栄養や組み合わせを確保できるよう、安全で美味しい給食を考えながら決めております。



☆再質問・答弁

- ・次回教科書を作るときに、重さや量などに配慮したり、分冊したりすることはできないか伺います。
→分冊化は、荷物を軽量化する取り組みにつながる、斬新で非常に良いアイデアだと思います。より使いやすい教科書となるよう、皆さんの意見もしっかり伝えていきたいと考えております。(教育長)
- ・給食時間と昼休みを明確に分けず一緒にするなどの工夫はできないでしょうか。
→給食時間と掃除、昼休みとの関係を工夫できないかも含め、皆さんに考えていただいたアイデアなども学校で改めて検討してもらうよう、働きかけていきたいと考えております。(教育長)
- ・メニューについてのアンケートを行い、その結果をメニューに反映する日をつくってもらいたいです。
→小学 5 年生と中学 2 年生を対象として嗜好調査を行っていますが、さらにメニューに反映できるように考えていきたいと思っております。(教育長)
- ・仲間たちからはわかめごはんをぜひ復活してもらいたい、あげばんを食べてみたいという声がありました。どうかご検討ください。
→わかめごはんは、現在栄養教諭の先生、給食センターの職員が新しい機械で試し炊きを行っている最中ですので、もう少しお待ちください。(教育長)



一般質問

☆質問・答弁

- ・厚田にできる学校の交通安全対策や防犯対策はどう考えているか教えてください。
→街頭啓発やパトロールの強化などを進めていきたいと考えております。(環境市民部長)
- 学校の玄関はすべてオートロックシステムとし、相手の姿を確認した上で鍵を開けますので、どうかご安心ください。(生涯学習部長)
- ・鮭のまち石狩に住む人として、小さい頃からもっと鮭についての知識を身につけるべきと思いますが、市の考えをお伺いします。
→子どもたちにまちの宝である鮭のことを身近に感じて良く知ってもらい、石狩を愛する大人になって巣立ってもらえるよう、今後も色々な取り組みをさらに進めて参りたいと考えております。(産業振興担当部長)

☆再質問・答弁

- ・子どもたちにも鮭の知識について身に付けてもらうために、例えばさけまつりなどで鮭の一生劇などをやってみてはいかがでしょうか。
→今後一緒になって鮭のことを学んだり、体験する機会を検討していきたいと思っております。(産業振興担当部長)

まちづくりグループ 代表質問 「買い物弱者(難民)対策について」

参加学校 / 花川北中学校、花川南中学校、石狩中学校、浜益中学校、石狩翔陽高校

☆質問・答弁

- ・高齢化率が高い厚田・浜益や高岡地区等で買い物や病院へ行くための手段として、市はどのようなことを実施しているのかお尋ねします。
→デマンドバスの運行やスクールバスを活用するといった一般の人が混乗をするような輸送手段を実行しております。(市長)
- ・浜益地区のコンビニなどを存続できるような支援や計画が必要だと考えますが、いかがでしょうか。
→市が直接経営することは考えていませんが、企業の方と直接話など積極的にサポートしたいと思っております。(市長)

☆再質問・答弁

☆質問・答弁

- ・津波が来るかどうかの情報をいち早く知ることができればいいと思いますが、停電になった場合、どのように情報を知ればよいでしょうか。
→スマートフォンや携帯電話、電池式ラジオなどで確認する方法がございます。普段から、機器を小まめに充電、あるいは乾電池が入っているかの確認をしてもらいたいと考えております。(総務部長)



- ・停電が長いとき、在宅で医療行為が必要な人への支援などはどのようになっていたのかを教えてください。
→まずは対象者の安否状況を確認しました。りんくろは自家発電がありますので、災害時には機器類の充電が可能であることをお伝えして、充電に来られた方もいましたし、まだ余震も続いていましたので宿泊された方もいました。人工呼吸器に関しては停電対応ができたかなと思います。(保健福祉部長)

- ・新港地区にビジネスホテルができること、花川南と北の間にある花川通が延長されて新港地区へつながる計画があることを知りましたが、その辺りに大型ショッピングセンターを誘致する予定はありますか。
→進出、出店が実現できるように、今後も誘致活動を進めて参りたいと考えております。(企画経済部長)

